



表紙もつけると、いい感じになります。



お手本もあると、分かりやすいですね。

0. **お歯黒 (はぐろ)**

意味
 「お歯黒 (おはぐろ)」とは、昔の日本で、主に女性が歯を黒く染める習慣のことです。今でいうお化粧 (けしょう) やおしゃれの一つでした。

使い方
 大人の女性のしるし (けっこんした) としてお歯黒をつけました。
 おしゃれ・美しさのしるしとしても、お歯黒をつけます。
 虫歯予防でも、お歯黒をつけたといわれています。 ²



このページのリンクをクラスルームに貼り付け、子どもたちに説明します。

手順としては、

- ①通読
- ②分からない言葉を出し板書する
- ③出席番号順にどの言葉を担当するか割り当てる
- ④言葉の意味を辞書やクロームブックで調べて、ページを完成させる (その際、物語の意味と一致しているかも確認してね)
- ⑤完成したオリジナル辞書を読みあう
- ⑥ペアで問題を出し合う「Aさん:○○という意味は? Bさん:○○です」

<p>5. </p> <p>菜種がら</p> <p>意味 「菜種がら（なたねがら）」は、アブラナ（菜種）から種を採ったあとの、カラカラになった茎や殻のこと。昔はこれが燃えやすかったので、かまどで火をおこすときの「たきつけ」として使われていた。</p> <p>使い方 菜種がら（なたねがら）は、菜種を収穫した後に残る茎の部分で、主に**かまどの「たきつけ（火おこし）」**に利用されました。また、油を搾った後の油かすは、肥料（元肥や追肥）として土壌改良や栄養補給に、燃料や肥料、床材としても活用されていました。</p> <p>7</p>	<p>6. </p> <p>はぎ</p> <p>意味 「はぎ」とは、日本の秋を代表する植物の一つです。「秋の七草」の一つです。</p> <p>使い方 「萩の花を積む」など言うことがあります。</p> <p>8</p>
<p>12. </p> <p>かげぼうし</p> <p>意味 光が当たってもものに映っている人の影のことを意味します</p> <p>使い方 太陽が出てきたら人が影から出て人の影が映ること</p> <p>14</p>	<p>14. </p> <p>墓地(ぼち)</p> <p>意味 ふんぼ(死体をまいぞうし、またはしょうこつをまいぞうするしせつ)をもうけるために墓地としてほけんじょちょうのきよかを受けたくいきをいいます</p> <p>使い方 いっばんてきなりようマナーと、墓地内での管理方法分けられます。</p> <p>15</p>
<p>15. </p> <p>かみしも</p> <p>意味 かみしもは江戸時代にきていた服です。上半身にきる上着みたいなものです。</p> <p>使い方 寒いときなどによく着る服です。</p> <p>16</p>	<p>16. </p> <p>位はい</p> <p>意味 故人の魂が宿る木の札で、没年月日、生前の名前などが書かれているものです</p> <p>使い方 仏壇に安置する</p> <p>17</p>
<p>17. </p> <p>はんの木</p> <p>意味 はんの木は水辺や湿地に生える背の高い木です。特徴は水に強く土地を豊かにする木です</p> <p>使い方 かつては田んぼの目印や、稲を干すための支柱として利用されていました。</p> <p>18</p>	<p>18. </p> <p>なわをなう</p> <p>意味 縄をなうという意味は、植物の繊維などをより合わせて縄を作るという意味。</p> <p>使い方 材料を燃りあわせて一本の縄にする。</p> <p>19</p>

4年生、はじめてのチャレンジでしたが、辞書を使う子もいて、楽しい学びとなりました。よろしければ、ぜひチャレンジしてみてください！